

東京都協会 会報

社団
全國道路標識・標示業協会 関東支部
Japan Contractors Association of Traffic Signs and Lane Markings

- はじめに 2006 8月 vol.2
会員紹介 02 03 活動報告
08 11 会員名簿





はじめに

(社)全国道路標識・標示業協会関東支部 東京都協会長 光吉 延博

21世紀に入り、早いもので6年の歳月が流れつつあります。

新世紀ともてはやされ、バブル崩壊後の大きく後退した日本経済にもまた一筋の光明が射すだろうと期待と願いをこめて、その扉を開いたものです。

確かに改革なくして前進なしのうたい文句の中で、金融改革等が実行され不良債権退治が一定の効果を上げ、海外輸出企業の活躍などで戦後最長のいざなぎ景気をしのぐ景気回復と拡大の様相を展開しております。

しかし一方我々建設業界、とりわけ専門工事業として位置づけられる当業界は財政改革の大号令の下、悪者扱いされる公共事業の一端でその予算縮小のうねりは止まらず、また、いわゆるダンピング受注の横行で混乱の極みと言わざるをえません。

そんな中、昨年4月施工の「公共工事の品質確保に関する法律（品確法）」に基づき、「価格競争」から「価格と品質が総合的に優れた調達」への転換を推進しつつある国土交通省でも、「いわゆるダンピング受注に係る公共工事の品質確保及び下請業者へのしわ寄せの排除等の対策について」が各地方整備局長宛に通知され、関東地方整備局においても「関東地方整備局における工事の品質確保に関する新たな取り組み強化」として策定されました。

さらには政府も5月23日の閣議で「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針（適正化指針）」の一部変更について決定しました。公共工事品質確保法の施行や、入札契約をめぐる最近の情勢を踏まえ◇一般競争入札の拡大◇総合評価方式の拡充◇国・都道府県による発注者支援—の観点から見直されたものです。これを期に不良・不適格業者の排除と、健全で技術に優れた企業の育成がいくばくかでも前進することを期待するものです。



「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針（適正化指針）」の改正について

公正な競争の推進

- 一般競争入札の拡大等
 - ・入札ボンドの活用等の条件整備を図りながら速やかに拡大
 - ・指名業者名の事後公表の拡大
- 総合評価の拡充等
 - ・公共工事品質確保法に基づき評価基準や実施要領を整備し速やかに拡大
 - ・総合評価の結果の公表徹底と、評価方法と落札決定者等について効率的に第三者の意見を反映
 - ・施工能力を簡易に評価する方式の活用
- 競争参加資格の決定に際しての工事実績、工事成績、工事履歴書など企業情報の活用
- 単体と経常JVの同時登録を認めないとともに、真に企業合併等に寄与するものを除き経常JVへの加点調整を行わないこと
- 指名停止措置についての不服申し出への対応実施

透明性の確保

- 予定価格及び最低制限価格は事後公表を推進

不正行為の排除

- 工事費内訳書の確認、入札結果の事後の統計的分析の活用等入札監視の強化
- 不良・不適格業者排除のための建設業許可行政庁との連携推進

適切な施工の確保

- 発注者間での工事成績評定の標準化の推進と苦情への適切な対応の推進
- 監督・検査の強化、下請企業を含めた立入調査の実施、履行保証割合の引上げ等ダンピング対策の強化

その他

- 発注者支援データベースの活用
- 工事履歴書や処分履歴等の企業情報の有効活用
- 国及び都道府県による発注者への協力・支援の推進

(平成18年5月23日閣議決定)

活動報告

財務広報委員会

平成18年度上半期活動報告

第25回通常総会報告について

平成18年4月20日(木)PM4:00より第25回通常総会を千葉県勝浦市ホテル三日月にて開催致しました。51社、72名の会員皆様の参加をいただき下記の内容を慎重に審議して無事可決承認されました。

- | | |
|----|----------------------------|
| 議事 | 第一号議案 平成17年度事業報告の承認を求める件 |
| | 第二号議案 平成17年度収支決算報告の承認を求める件 |
| | 第三号議案 平成18年度事業計画案の承認を求める件 |
| | 第四号議案 平成18年度収支予算案の承認を求める件 |
| | 第五号議案 役員1名退任に伴いその選出を求める件 |

同日、大多喜城カントリークラブにて10組で懇親コンペを行いました。大変な荒天の中でしたが最後まで楽しく過ごすことが出来ました。

安全管理講習会の開催

平成18年6月12日(月)にトラック会館において、安全管理講習会を昨年に引き続き開催致しました。これには協会員はもとより、幅広く同業者にも呼びかけ、67社、161名の現場代理人・主任技術者が集い、14:00~16:00まで2時間の中、真剣に安全講習についての講話に傾聴をしました。講師は警視庁交通部交通規制課郡司主査をお迎えし、多岐に渡る交通安全施設の専門業者として、いかに現場であるべきか等々、貴重な内容の講話を頂きました。又、来年もこのような講習会を開催して、安全管理の重要さを周知徹底しプロ集団として恥ずかしくない一人一人に成長をしてまいりたいと思います。



2016年東京オリンピック招致都民集会参加について

第1回東京都定例議会において決議された、第31回オリンピック競技大会の東京都招致についての都民集会が平成18年7月20日(木)日比谷公会堂にて開催され、当協会も賛同し四役にて参加しました。

東京都協会のホームページを開設致しました。

※東京都協会のホームページが開設いたしました。 <http://www.zenhyo-tokyo.com/>

下半期の主たる行事予定

日付	行事内容	場所・内容	備考
8月22~24日	路面技能試験	実技試験 千葉ポリテクセンター	協会員
9月上旬	要望活動	都庁・各建設事務所	協会長、幹事による
9月5日	19年度東京都予算要望活動	都議会与党	協会長、幹事による
10月26・27日	上半期活動報告	報告会、支部合同会議	別途案内致します
11月下旬	支部講習会	未定	別途案内致します
1月10日	賀詞交歓会	第一ホテル東京	協会員



活動報告

標識委員会

標識輝度測定システムについて

標識輝度測定システムは最新デジタル技術を使用し、簡易に標識の反射性能を測定するシステムです。このシステムで測定されたデータは標識のアセットマネージメントの基礎データとして利用され、標識板面の劣化度合いから標識寿命を過ぎたものを容易に峻別し、データに基づく標識更新を促進していく事を可能にします。

システム構成

このシステムは撮影部と処理部で構成されます。
その各機器を以下に示します。



撮影部	デジタルカメラ
	レンズ
	三脚
処理部	パソコン
	ソフトウェア

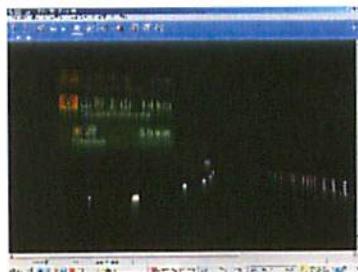
測定フロー

①対象の撮影

撮影対象の標識を本線上の走行及び静止時に、ロービームの状態で、車両の助手席ヘッドレスト高さに設置しデジタルカメラにて画像記録撮りを行う。

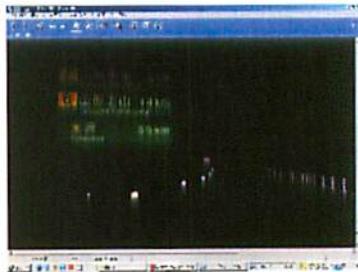
②PCへの取り込み

撮影した画像データを、PCへ取り込む。



③画像データからの解析

輝度を測定するポイントを決定する。

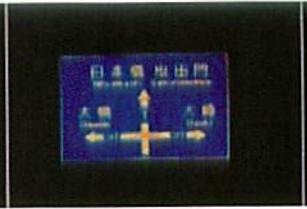


④輝度の測定・解析

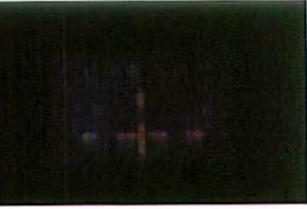
解析ソフトによる断面解析、3次元表示、ヒストグラムなどの処理により輝度の解析を行います。



白色輝度 65cd/m²



白色輝度 35cd/m²



白色輝度 5cd/m²

標識取り替え基準の検討

高齢者を含むすべてのドライバーにとって、夜間走行時に必要な情報を提供するための標識輝度レベルを策定することで、更新すべき標識の優先順位付けを行い、データに基づく標識更新を促進していくことが可能となります。

参考資料

建設省(現・国土交通省)『道路技術5箇年計画道路標識表示装置の高度化に関する検討(平成10年)』では、夜間における標識の明るさと読みやすさを明らかにし、夜間の標識のサービスレベルを提案することを目的として実施されました。

白色輝度 (cd/m ²)	成人ドライバー	
	判読距離	読みやすさ
5	ゆとり時間平均0.8秒 消失点までに90%強が読める	75%の者が標識として良くない
10	ゆとり時間平均1秒 95%の者が読める	ちょうど半数の者が良くない
35	ゆとり時間平均1.3秒 ほぼ全員が読める	85%の者が標識としても良い
50	ゆとり時間平均1.4秒 ほぼ全員が読める	90%の者が標識としても良い
65	ゆとり時間平均1.5秒	95%の者が標識としても良い
100	ゆとり時間平均1.7秒	ほぼ全員が標識としても良い
165	ゆとり時間平均1.9秒	最も読みやすい明るさ
200	ゆとり時間平均2秒 最も良く読める明るさ	
260	ゆとり時間平均1.9秒	全員が標識としても良い
450	ゆとり時間平均1.8秒	
1200	ゆとり時間平均1.7秒	良くないとする者が10%程度出てくる

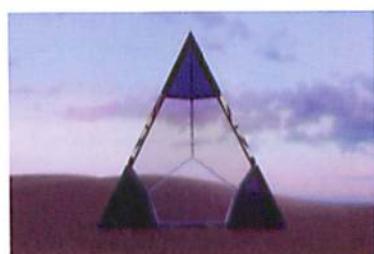


視認性が向上した広角プリズム型反射シートについて

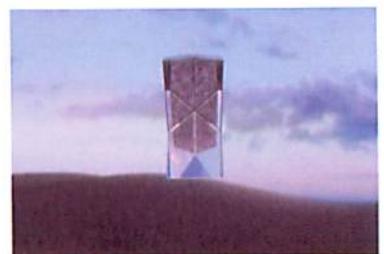
道路標識は、夜間交通量の増大・ドライバーの高齢化・環境意識の高まりという時代を迎え、「明るく・見やすい」性能が求められています。このたび、視認性に優れる広角プリズム型で、さらに性能の向上が図られたフルキューブタイプが完成しましたので、ご紹介させていただきます。

特徴

このシステムは撮影部と処理部で構成されます。広角プリズム型フルキューブは従来の広角プリズム型の反射素子の効率的な部分のみを使用することで、さらに夜間の視認性・判読性が向上しました。



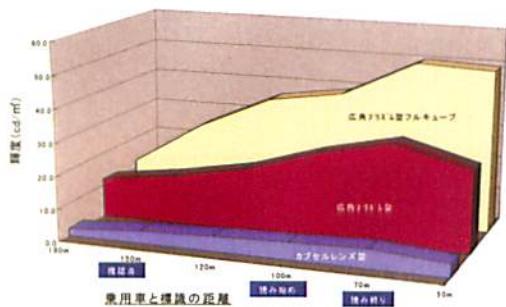
広角プリズム型(従来タイプ)



広角プリズム型フルキューブ

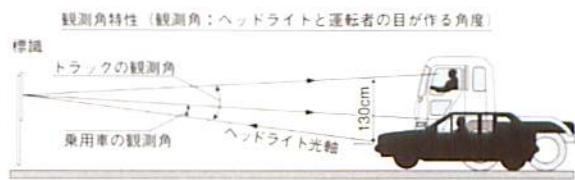


広角プリズム型フルキューブ(左)とカプセルレンズ型(右)の比較写真



夜間における道路標識の明るさを、その判読距離でどのようになるかをカプセルレンズ型反射シートと比較しました。150m、100mと「視認距離」の区間に入ってくるとその差は大きくなり、70m地点では10倍に、50m地点では12倍近くになります。道路標識を最も判読したい50m～100mの区間で、広角プリズム型フルキューブタイプは最大にその効果を発揮します。

大型車・トラック・ワゴンなどはヘッドライトと運転者の目が作る角度が開いているために観測角特性が要求されます。また道路標識の文字や記号を読みとるときの角度は40'から1°と言われています。このとき広角プリズム型フルキューブタイプの反射性能は最大になります。





活動報告

標示委員会

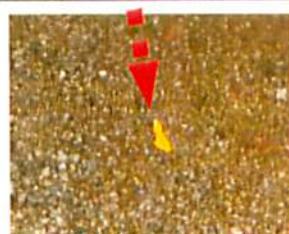
路面標示材（黄色） 有鉛から無鉛へ

警視庁に於いては今年度より黄色溶着材料の無鉛化を全国に先駆け、採用されました。鉛の人体に対する有害性は過去より指摘されており、東京都環境局に於いては「化学物質の子どもガイドライン〈鉛ガイドライン（塗料編）〉について」が策定されております。生活の中の鉛の項については以下の通り説明がされております。尚、今回警視庁が無鉛化を採用した事により、今後、各公安委員会及び道路管理者に於いてもかなりのスピードで鉛フリー塗料の使用拡大が想定されます。

鉛ガイドライン（塗料編）

鉛は神経に影響を及ぼし有害な化学物質といわれており、特に成長期の子どもにとって注意すべき化学物質で、「子どもの環境保健に関する8カ国環境指導者の宣言書」（1997年マイアミ宣言）では、対策が必要な化学物質の一つに挙げられています。さらに、わが国における子どもの鉛への暴露率を食品、大気、水質、土壤などの有含量等から計算すると、FAO（世界食糧機構）・WHO（世界保健機構）が設定した暫定週間耐容摂取量をこえる恐れもあります。子どもの鉛への暴露の経路として最も重要なものは、土壤やほこりです。塗膜中に含まれる鉛化合物が剥離により地面や床に落ち、それが土壤やほこりの中に入り込み、子どもが手などに付着したものを舐めたりして、子どもの体内に取り込まれる恐れがあります。

したがって、これらの塗料を鉛フリー（鉛を含まないもの）に切り替えるなど、用途に適した適切な塗料の選択が必要です。このため、含鉛塗料について、ガイドラインを策定し、その対策を行っていきます。



鉛が使用されている製品	環境対策
塗料（黄色等）、防錆塗料	なし
電化製品のはんだ	E U 等の規制
鉛蓄電池	リサイクルの確率
鉛筆、絵の具	J I S の基準

鉛蓄電池はリサイクルが確立され、電化製品や自動車などで鉛フリー化（製品中の鉛の量をできるだけ少なくすること）は、国際的にも対策が進んでいるところです。さらに、鉛筆や絵の具については、JIS（日本工業規格）で健康影響を考慮した有害成分の重金属の基準として、含有量の上限が決まっています。

しかし、錆止め塗料のJIS規格には、性能を保証するために含有量の下限は定められていますが、健康影響を考慮した基準ではなく、上塗り塗料については鉛に関する規定はありません。また、建物などの下地塗りで使われている赤色の錆止め塗料や、学校、公園のブランコ、鉄棒その他の遊具に使用されている黄色やオレンジ系の上塗り塗料では、比較的多くの鉛化合物が含まれているものがあります。



速度制限標示



回転禁止標示

バス停アクセスゾーンカラー化の提案

標示委員会では今年度の事業計画に基づき、バス停アクセスゾーンのカラー化を推進するため、東京都交通局に対し、「安全で快適なバス停」をテーマに以下のようなカラーイメージを作成し、提案しています。

車道部



現 状

一般車両がアクセス部に駐車しており、バス停の停車に支障をきたしている



提 案

カラー化により、アクセス部を明瞭にして駐車禁止の喚起をする

歩道部



現 状

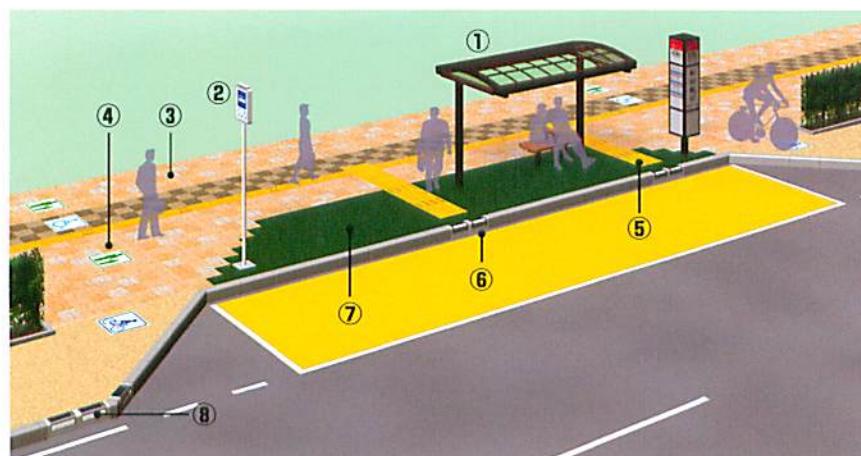
- バス停が見つけにくい
- 休憩できる空間が無い
- 快適な滞留が出来ない



提 案

- 視覚障害者の方でも容易に探せる誘導標示
- 休憩できるベンチの設置
- 炎暑期でも快適な保水性平板(ヒートアイランド対策)

トータルイメージ図



①バスストップシェルター

②ファイバーサイン

③保水性又は透水性平板ブロック

④ネオキャップス(貼付式路面標示)

⑤ガイドウェイ

⑥歩車道境界ブロック

⑦セーフティアンチヒートブロック
(保水性複合平板)

⑧ライティングブロック(センサー式)



会員紹介

株式会社吾妻商会

所 在 地 〒104-0031 東京都中央区京橋2-4-12 京橋第一生命ビル3階 TEL／03-3271-2371 FAX／03-3274-6728

創 業 1919年(大正8年) ※交通用品部門は1960年(昭和35年)発足

資 本 金 1億5千万円

取 扱 製 品 視線誘導標各種(デリネーター・線形誘導標・防塵タイプなど)、道路鋲(チャッターバー・ロードスタッド・縁石鋲・道路境界鋲)、LED製品(線形誘導鋲・可変表示板・ソーラー式鋲・プリンカー)、ポストコーン各種、ノックスクッシュョン、サンドクッシュョン、車両衝撃体、高速道路関連製品、車止め、景観、防災関連製品

事 業 内 容 道路環境の拡大・多様化に伴い、交通安全に対する取り組みも時代に合った柔軟性と確かさを要求されています。

当社は昭和35年以来、時代のニーズに合った製品をお届けするために、研究・開発から製造・提案・販売まで一貫した流れで現在の、そして未来の道路環境の安全に貢献していきたいと思っております。

株式会社アークノハラ

所 在 地 本 社 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-1-11 TEL／03-3351-9301 FAX／03-3355-0639

支店・営業所 埼玉支店・名古屋支店・西関東営業所

創 業 1987年(昭和62年) **資 本 金** 5,000万円

事 業 内 容 道路標識、道路標示、サイン、防護柵、フェンス、遮音壁、トンネル内装板

概 况 当社は平成14年11月に野原産業(株)の土木関連の工事業務を会社分割にて承継し現体制となりました。標識メーカーである野原産業(株)との緊密な連携のもと、設計・製造から販売・施工まで一貫した体制で、従来の規制・案内標識のみならず、高いデザイン性や環境の配慮を必要とするモニュメント・サインの分野においても広く社会へのお役立ちに努めております。「環境」「省エネ」「安全」「安心」が深刻なテーマとなっている昨今、状況に迅速に対応し、その情報の発信ステーションとなれるよう、今後も社員一丸となって邁進してまいります。

信号器材株式会社

所在 地

東京支店 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-26 芝信神田ビル6階
TEL／03-3251-5121 FAX／03-3251-5125

本 社 〒211-0016 神奈川県川崎市中原区市ノ坪160 TEL／044-411-2191 FAX／044-422-1543

事務所・営業所 東京事務所・仙台営業所・福島営業所・新潟営業所・群馬営業所・山梨営業所・茨城営業所・埼玉営業所・千葉営業所
静岡営業所・名古屋営業所・大阪営業所・兵庫営業所・京都営業所・九州営業所

工 場 川崎工場・福島工場・広島工場・九州工場・茨城工場

創 業

1947年(昭和22年)

資 本 金

1億円



事業 内 容

道路標識、路面標示、区画線、道路交通情報装置、反射鏡、
防護柵、防音壁、すべり止め舗装、カラー舗装

概 况

創業以来、半世紀に亘り、鉄道輸送および道路交通の安全を願い、「変革・創造・誠実・調和・反省」を社是として「研究開発から設計・生産・施工・販売」と一貫した体制で取り組んでまいりました。今後においてもお客様を第一と考え、多様化・高度化するニーズに対してご提案が出来ますよう、今までに培いました技術と経験を活かし、努力を続けたいと考えています。「交通の安全と円滑化に貢献しよう」をスローガンに、かけがえのない命を守るため、お客様の立場に立ってご期待に応えられるよう取り組んでまいります。

株式会社ミズホライン

所 在 地

〒190-1200 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原1番地4 TEL／042-557-1666 FAX／042-556-1690

創 業

1975年(昭和50年)

資 本 金

2,000万円

取 扱 製 品

道路標識、カーブミラー、デリネーター、メッシュフェンス、公園資材、シェルターほか

事業 内 容

道路標示・標識設置工事等交通安全施設工事
シェルターほか景観製品工事
フェンス・公園資材等設置工事
防球ネット、すべり止め舗装、カラー塗装工事

概 况

当社は設立以来、交通安全施設業のプロとしてあらゆる需要に対応すべく、知識・技術の向上に努めてまいりました。現在、時代に促した景観製品の施工を進め、今後も専門業者としてのプライドをもって道路利用者、歩行者の安全を守るべく取り組んでまいります。





会員紹介

東興業株式会社

所在地 〒333-0834 埼玉県川口市安行領根岸939-1 TEL／048-287-2111 FAX／048-287-2110

創業 1974年(昭和49年)

資本金 1.000万円

事業内容 自社班(人員23名)と自社車両で機動力を活かし、大小の規模を問わず

交通安全施設業全般の土木、電気工事を施工いたします。

産業廃棄物運搬許可(東京都・埼玉県・さいたま市)



ヨシモトポール株式会社

所在地 本社 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル7階
TEL／03-3214-1552 FAX／03-3212-1751

支店・営業所 関東支店・東北支店・長野支店・大阪支店・九州支店
札幌営業所・新潟営業所・金沢営業所・名古屋営業所・滋賀営業所

工場 群馬工場(品質ISO9001・環境ISO14001取得)・滋賀工場

創業 1961年(昭和36年)

資本金 3億円



取扱製品 標識柱・信号柱などの交通安全関連商品、デザイン照明・集合ポールなどの景観関連商品
エコ照明・小型風力発電柱などの環境関連商品、監視カメラ・防災無線柱などの通信関連商品

事業内容 当社は45年前、材木業からコンクリートポールの製造業として誕生し、鉄(スチール)ポールの製造業へと発展してまいりました。今ではポールの総合メーカーとして、標識・信号・照明・情報通信・ストリートファニチャーなどの多岐にわたる分野でご使用いただいております。素材もまた、木材・コンクリート・スチール・アルミ・ステンレス・鋳物・硝子カレットなど何でも扱っております。最近では、風力・水流・太陽光の自然エネルギーを利用した「エコ照明システム」「揚水風車システム」「小型風力発電システム」「水流発電システム」などの新エネルギーの活用に取り組んでおります。今後も「安全・環境・景観」を事業コンセプトとして、「美しいくにづくりに良い品を」を経営理念として掲げ、45年の豊富な、ものづくりの経験と技術を活かし、設計から生産・販売に至るまでのすべての部門が協力して、「創り拓く技術のヨシモトポール」を実践してまいります。



会員名簿

事務局: 〒102-0083 千代田区麹町4-2-6 第2泉商事ビル2F TEL: 03-3264-5756 FAX: 03-3264-5772
正会員

会社名	郵便番号	住所	電話番号
(株)アークノハラ	160-0022	新宿区新宿1-1-11 友泉新宿御苑ビル	03-3351-9301
(株)吾妻商会	104-0031	中央区京橋2-4-12 京橋第一生命ビル3F	03-3271-2371
アトムテクノス(株)	101-0043	千代田区神田富山町18	03-3256-5450
交通産業(株)東京支店	113-0033	文京区本郷5-28-1-3F	03-3815-7437
川口産業(株)	101-0047	千代田区内神田2-7-9 浅野屋ビル	03-3254-1411
(株)キクテック東京支店	125-0062	葛飾区青戸8-2-18	03-3690-1501
協和産業(株)東京支店	153-0052	目黒区祐天寺2-15-17	03-3792-3388
(株)倉本道路	170-0013	豊島区東池袋3-7-4	03-3989-6736
交通安全施設(株)	141-0032	品川区大崎3-6-21 ニュー大崎	03-3495-0821
交通企画(株)東京支店	113-0022	文京区千駄木1-19-7 木原ビル2F	03-3821-1051
(株)コート東京事務所	192-0041	八王子市中野上町5-24-8	0426-24-2151
三和工営(株)	167-0052	杉並区南荻窪1-9-17	03-3333-1524
信号器材(株)東京支店	101-0041	千代田区神田須田町1-26 芝信神田ビル6F	03-3252-5121
新日東(株)東京支店	169-0074	新宿区北新宿4-22-3 ミリオンコート新宿105	03-5389-4633
セイトー(株)東京支店	101-0043	千代田区神田富山町24 神田富山町ビル5F	03-3251-2651
積水樹脂(株)東京支店	105-0022	港区海岸1-11-1 ニューピア竹芝ノースタワー12F	03-5400-1821
セフティック(株)	113-0033	文京区本郷5-25-14 本郷THビル	03-3811-8185
(株)全工	179-0081	練馬区北町8-10-11	03-3931-4811
第一標識(株)	144-0034	大田区西糀谷4-17-15	03-3744-5121
秩父産業(株)	101-0025	千代田区神田佐久間町3-19	03-3851-9241
中央塗料工業(株)東京支店	144-0052	大田区錦糸4-15-10 カーサ錦糸第二202	03-3738-6590
豊田(株)東京支店	158-0097	世田谷区用賀2-36-15 ヴィラートビル4F	03-5716-5661
永盛産業(株)	115-0042	北区志茂2-10-12 菖龍マンション103	03-3902-5105
日本安全(株)東京支店	170-0013	豊島区東池袋3-10-4	03-3985-7131
日本ハイウェイ・サービス(株)	104-0032	中央区八丁堀4-4-4	03-3523-7070
(株)日本バーカーライジング広島工場 東京支店	151-0053	渋谷区代々木2-20-12 吳羽小野木ビル	03-3374-4136
(株)日本ボーサイ工業	183-0052	府中市新町1-71-1	042-362-7195
日本ライナー(株)	135-0047	江東区富岡2-1-9 NV富岡ビル3F	03-5646-2311
ニューズ産業(株)	183-0012	府中市押立町2-26-11	042-334-8838
保安工業(株)東京支店	141-8702	品川区北品川5-5-22	03-3443-6401
(株)ミズホライン	190-1222	西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原1-4	042-557-1666
宮川興業(株)東京支店	150-0002	渋谷区渋谷1-20-28 宮川ビル	03-3407-1002
(株)ユタカ産業	161-0033	新宿区下落合2-4-10	03-3953-9337
ライン企画工業(株)東京支店	160-0023	新宿区西新宿6-12-7-409	03-3348-7971
ラインファルト工業(株)東京支店	144-0033	大田区東糀谷4-1-4	03-3743-5061

賛助会員

会社名	郵便番号	住 所	電話番号
東興業(株)東京営業所	121-0836	足立区入谷7-18-18	03-5691-1010
アトミクス(株)	174-8574	板橋区船渡3-9-6	03-3969-1552
(株)アルファー企業	167-0022	杉並区下井草3-36-1	03-3394-6161
イワブチ(株)	271-0064	松戸市上本郷167	047-368-2221
(株)エール 東京営業所	175-0082	板橋区高島平9-13-9	03-3598-0245
笛沼物産(株)	120-0003	足立区東和2-5-6	03-3605-4775
(株)サンエイ企画 東京営業所	125-0033	葛飾区東水元2-36-17	03-5660-3984
三永商事(株)東京営業所	173-0001	板橋区本町38-6 サンパレス本町2F	03-3579-8428
(株)三公社	151-0072	渋谷区幡ヶ谷2-37-6	03-3377-4133
(株)サンデンコー	165-0023	中野区江原町2-20-15	03-3954-8511
住友スリーエム(株)交通安全システム事業部	103-0015	中央区日本橋箱崎町36-2 リバーサイド読売ビル10F	03-5641-4965
(株)トウベ道路塗料部 東京営業課	110-0015	台東区東上野6-16-10 KBUビル	03-3847-6514
日鉄防蝕(株)	101-0032	千代田区岩本町2-11-9	03-5820-4671
日本ロードマーク(株)東京支店	157-0067	世田谷区喜多見8-11-18	03-3417-5658
日本地工(株)	334-0075	川口市江戸袋2-1-2	048-283-1111
野原産業(株)都市環境事業部	160-0022	新宿区新宿1-1-11 友泉新宿御苑ビル	03-3357-2510
ヨシモトポール(株)	100-0006	千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル	03-3214-1552
(株)ロードテック	123-0841	足立区西新井4-14-10	03-3855-2680

■溶融噴射式路面カラー塗装「ミストグリップ」

MIST GRIP

■非リブ式高輝度標示耐滑走性向上ライン

グリットライン

■排水性舗装用路面標示(スリッター工法)

フラットライン

信号器材株式会社

東京支店 <http://www.shingokizai.co.jp>

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-26 芝信神田ビル6F

TEL 03-3252-5121 FAX 03-3252-5122

本社：川崎

工場：川崎・福島・茨城・広島・九州

Heartfelt
Urbanization



社会と安全と環境に配慮した製品・工事をお届けします

野原産業株式会社 : 〒160-0022 新宿区新宿1-1-11友泉新宿御苑ビル3F TEL.03-3357-2510 www.nohara-inc.co.jp

株式会社アーカノハラ : 〒160-0022 新宿区新宿1-1-11友泉新宿御苑ビル3F TEL.03-3351-9301

バリアフリー・ユニバーサルデザイン

交通インフラから歩行空間まで、安全・安心・快適を目指し、幅広い生活環境づくりのお手伝いをいたします。

公共環境を表現する KICTEC

株式会社キクテック 東京支店

〒125-0062

東京都葛飾区青戸8丁目2番18号

TEL 03-3690-1501

FAX 03-3604-8373

H P <http://www.kictec.co.jp>



保安工業株式会社 ISO 9001(BVQI) 取得

弊社は『安全・環境』にかかる、さまざまな新商品の開発に取り組んでいます。

■衝撃吸収ユニット(衝撃を受けたとき標識板が90°まで回転し衝撃を吸収、又、元の位置に戻り標識板と安全を守ります。)



3M

Scotchlite™

ダイヤモンドグレード

DG³反射シート

(広角プリズム型フルキューブ)

<Scotchlite><スコッチライト><3M>は、3M社の商標です。

◆ 住友スリーエム株式会社

交通安全システム事業部

本社 158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1

究極の反射シート DG³ ついに完成。

(ディージー・キューブ)

スコッチライト反射シート・ダイヤモンドグレードDG³は、フルキューブ粒子を持つ広角プリズム型反射シートです。

従来のプリズム型(三面体キューブ)の反射面が60%程度であったのに対して、

フルキューブはその効率的な部分のみを使用し、マイクロプリズムーシング(高精細面)技術によって100%の反射面を実現しました。

カスタマーコールセンター 契約についてのお問い合わせはナビゲィアルで

カタログ等各種資料のご要望は URL

0570-012-123

FAX 0120-282-369

<http://www.mmm.co.jp/ref/>



3M

道路視線誘導標協会

本会は道路視線誘導標とその関連商品を製造するメーカーが道路視線誘導標の品質向上のために、品質や規格を定めてその普及と啓蒙宣伝、関係官公庁及び関係団体との連絡等を目的とする協会です。

協会加盟各社

(株)吾妻商会

埼玉県戸田市喜沢南1-5-47

Tel:048-443-0400

交通用品部

大塚刷毛製造(株)

千葉県市川市高谷2018-45

Tel:047-328-2234

交通資材部

(株)倉本道路

東京都豊島区東池袋3-7-4

Tel:03-3989-6736

営業部

積水樹脂(株)

大阪府大阪市北区西天満2-4-4 堂島関電ビル6F

Tel:06-6365-3244

道路・交通環境事業部

東洋ゴム工業(株)

大阪府大阪市西区江戸堀1-17-18

Tel:06-6441-8704

工業用品販売部

日本ライナー(株)

東京都江東区富岡2-1-9 NV富岡ビル3F

Tel:03-5646-2314

商品部

野原産業(株)

東京都新宿区新宿1-1-11 友泉新宿御苑ビル

Tel:03-3357-2510

都市環境事業本部

